

薬薬連携 勉強会&意見交換会

第2部 意見交換会議事録

日時：平成30年7月13日（金）20：00-20：40

場所：多摩南部地域病院 第2会議室

1. お薬手帳見開きページの活用について

アレルギー歴はお薬手帳のすぐにとり着ける場所に記載していなければ意味がない。お薬手帳には患者のアレルギー歴記載場所があるが、実際活用するようになっているか。

（意見）

- 病院薬剤師は退院時、手帳には記載しているが、処方内容と同じ部分に記載するのみで、記載箇所には記載していない。記載箇所を統一しきれていない部分はある。
- すぐ手帳が更新されて未記載になってしまう。
- 書いてないことが多く、患者に記入させてくださいと言って書いている。
- 患者が自身で記載することはあまりない。本当は自ら記載してほしい。
- 過去の複数冊持つ人もいる。クリニックごとにもっている場合もある（他施設への通院を知られたくない）

（その他の情報）

- バインダーのような手帳は存在していない。
- 数ページしかないお薬手帳は、今はあまり使わない。
- 既往歴はさらに書いていない。知られたくない既往など、患者からの抵抗もある。
- 今はお薬手帳持参で安くなるため、持参率は上がっている。
- 月数人程度、アプリ系の手帳を扱う。読み込む手間もある。携帯だとあずかれない等問題もある。その場で確認し、印刷するが、実用的ではない。

具体的な対策としてはどのようなものがあるか。

- 表紙を使いませる手帳（バインダー型）を薬剤師会で作る。
- 過去には行政で保険証とかも入れられる手帳があった。（健康手帳）
- 手帳カバーに貼付するシールのフォーマットを作成し、薬剤師会で共有する。

2. 今後行っていく具体的な薬薬連携にはどのようなものがあるか

- 腎機能低下の値をお薬手帳に書いてほしい
 - eGFR ではなく、CCr が知りたい
 - 実際、院内で問い合わせにより変更が多いのも、腎機能による用量調節である。やはり介入していくべき。
 - その他、K 値等も知りたい。
 - 多摩市薬剤師会で検査値開示において議論は持たれていないが、多摩南部地域病院が行ったアンケートによると賛否両論であった。
 - 責任を押し付けられても困るという意見もあった。
- 薬局からはどんな疑義照会が多いか
 - 院外処方については院内で把握しきれていない。
- 病院からの院外処方箋の不備は問題となっているか。
 - 多摩南部地域病院の処方箋不備はそれほど多くない印象である。
 - 塗布剤には使用部位と回数が必須。であるが、記載していないケースが多く、薬局では患者より聴取し、追加している。インスリンの単位数も必要。
 - 疑義照会した内容が次回までに変更されないケースが多く、何度も問い合わせが必要となっている。
 - 院内で内容が把握できておらず、カルテに照会結果を記載する体制がない。そのため、反映されていない。
 - 代行入力で修正入力か。
 - 地域連携室、薬剤科宛に FAX を受け付け、薬剤師がカルテの付箋で対応する。
 - まずは、患者に大きく影響するような疑義照会から FAX 開始していく。
- 院内で使用した注射剤の情報を知りたい。
 - (院内の2次システム調整にて) ラベルを出力して薬と一緒に払い出し、看護師から渡してもらう。
 - すべてに対応は不可能

薬薬連携 勉強会 & 意見交換会

日時：平成30年7月13日（金）19:15-20:30
場所：多摩南部地域病院 第2会議室

第1部：講演会

19:20-19:50

薬剤師による抗菌薬適正使用支援

多摩南部地域病院
感染制御専門薬剤師

佐々木 康弘 先生

第2部：意見交換会

19:50-20:30

多摩南部地域病院 と 薬薬連携をしていきましょう！

患者さんにプラスとなるような、具体的な取り組みについて、
意見交換できればと思います。

問い合わせ先：多摩南部地域病院薬剤科 畠山 卓
taku_hatakeyama@tolkyo-hmt.jp

●欲しい情報にすぐにたどり着くには、どうしたら良いか？具体的にどう進めるか？

例えば・・・

- 見開きページへの記載を推進する（誰もが同じ部分に記載する）
- 重要な記載部分に付箋をつける
- 統一した記載用紙を使用する（お薬手帳のサイズはだいたい同じ！）

等

2. 多摩南部地域病院との具体的な薬薬連携について

患者さんのためになるような、具体的なテーマを一緒に考えていきましょう。

~~~~~

当日の流れ

- 19:15- ご挨拶（多摩市薬剤師会会長 小坂一郎先生）
- 19:20- 第1部 講演会 多摩南部地域病院 佐々木康弘先生  
薬剤師による抗菌薬適正使用支援
- 19:50- 第2部 意見交換会
  - 1. お薬手帳見開きページの活用について
  - 2. 具体的なテーマについて
- 20:30- 終わりに（多摩南部地域病院 松本智子先生）